

2025年度実施「名桜大学入学前特別講座」報告書

2026年2月12日(木)から17日(火)までの4日間、名桜大学本館3階(講義室3)において「2025年度名桜大学入学前特別講座」を実施いたしました。本講座は、総合型選抜入試や学校推薦入試等で名桜大学に合格した北部地区県立7高等学校の生徒、総勢77名を対象に実施しました。

本講座の目的は、①入学後の目標を明確にすること、②大学の学びへスムーズに移行できるように準備すること、③入学前の準備学習(基礎力養成)を行うことです。

1日目は、「講座の趣旨説明」「先輩からのメッセージ」「先輩&高校生同士の交流会」「数学基礎力診断テスト」「英語基礎力診断テスト」「ライティング講座」を実施しました。2日目以降の3日間は、「統計学基礎講座」「英語講座」を行い、特に3日目(2月16日)は、昨年度に引き続き、名桜大学特別客員教授の佐藤優氏による「特別講話」があり、貴重な学びを体験することができました。

特に遠距離通学の生徒は早朝から大変だったと思いますが、入学前の本特別講座で充実した4日間頑張ることができたと思います。以下に4日間の講座の出席状況及び入学前特別講座の目標達成状況について報告いたします。

1. 4日間の出席状況について

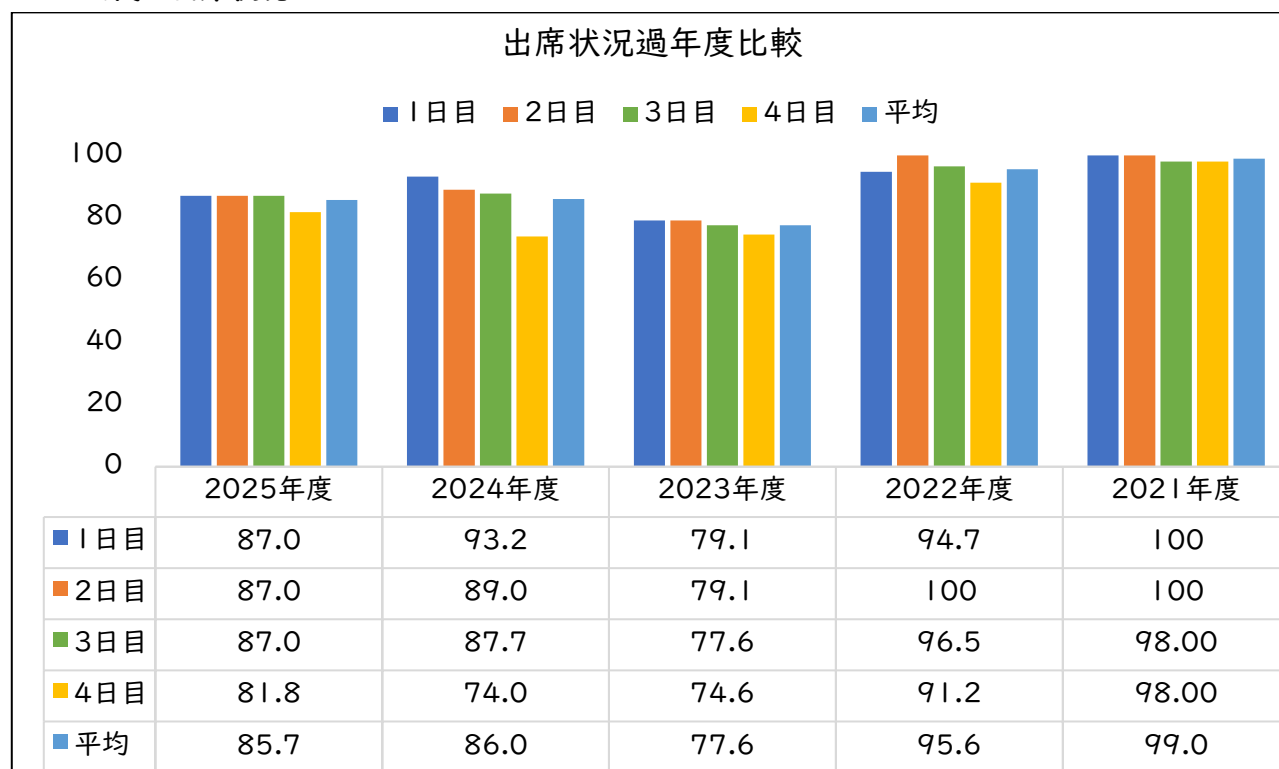


図1 4日間の出席状況過年度比較

【考察】

この時期(2月)は、例年寒さやインフルエンザ等で体調を崩す生徒が多く、出席率の低下が懸念されています。今年度は、高大接続勉強会において、高校の先生方からの指導を呼びかけたこともあり、体調不良による欠席もありましたが、1日も参加しなかった生徒は2名だけでした。しかし、私用や連絡なし等の欠席者もいたことは残念です。特に、講座の締めくくりの最終日に出席率が低下することについて、改善策が必要だと感じています。

参加者の振り返りや感想等からは、学びの多い体験ができた達成感が伝わってきました。そのため体調不良等や自己都合で参加できなかった生徒が、この貴重な体験を享受できなかったことを残念に思います。入学前の時間を有効に活用し、入学後の目標設定や学習習慣の確立に向けて努力して欲しいと願っています。

表1 学科別出席状況

出席日数	対象者	出席率	4日	3日	2日	1日	0日
国際文化学科	14	82.1	10		2	2	
国際観光産業学科	17	89.7	12	3	2		
スポーツ健康学科	10	65.0	5	1	1	1	2
看護学科	15	90.0	12	1	1	1	
健康情報学科	21	90.5	14	6	1		
合計	77	85.7	53	11	7	4	2

表2 出身高校別出席状況

出席日数	対象者	出席率	4日	3日	2日	1日	0日
宜野座高校	5	55.0	1	1	2		1
辺士名高校	2	100.0	2				
北山高校	8	71.9	2	4	1	1	
本部高校	2	87.5	1	1			
名護高校	42	93.5	37	2	1	1	1
名護商工高校	15	86.7	10	3	1	1	
北部農林高校	3	41.7			2	1	
合計	77	85.7	53	11	7	4	2

【考察】

体調不良等による欠席もありましたが、講座の出席状況は、そこまで悪くはなかったと思います。しかし、学科別や出身校別に視ると懸念されることが在りました。それは、受講して欲しい生徒の欠席が目立っていたからです。この件については、引き続き高等学校と連携しながら対策を検討していく必要があると感じています。

2. 入学予定者の高校生と先輩学生の交流会 コーディネーター 木村堅一副学長(ウェルナビ顧問)

この交流会は、毎年学生支援団体「ウェルナビ」の先輩学生が企画し実施している取り組みです。それぞれの自己紹介の後、グループワークでは、北部の高校生が考える北部の強みと課題について話し合いました。

参加者の多くが交流会を肯定的に捉えており、楽しい時間を過ごせたようです。

感想には、「面白かった」「良い雰囲気だった」というコメントが多く寄せられました。また、「先輩や他校生と話すことで、入学に対する心配や不安が薄らいだ」「時間割の組み方、単位、教職、バイト、サークル活動など、具体的な話題について聞くことができた」「自分の学科以外の人や、他校の生徒、様々な学部の人と話せたことが良かった」「話し合いやレクを通じて、自然と仲良くなれた」「大学生のリアルを知ることができた」「名桜大生の人柄の良さに安心した。名桜はどんなところなのかを詳しく知ることができた」など、先輩方の優しさや気遣いへの感謝のコメントも多数ありました。

さらに交流を通じて具体的な情報を得られ、入学前の不安が解消されたという成果があったようです。



写真1・2 交流会の様子 2月12日(木)

3. 佐藤先生の特別講話

2025年度 入学前特別講座「佐藤優先生の特別講話」

日時 2026年2月16日(月) 14時40分～16時00分

会場 名桜大学本館3階 講義室3

講師 佐藤優氏(作家、名桜大学客員教授、元外務省主任分析官、神学者)

昨年度に引き続き、佐藤優先生の特別講話を拝聴することができました。

講話の内容は、「母親の沖縄戦体験談」、「広い視野から人生を考える視点」、「人との繋がり的重要性」、「将来の職業選択への道」など、多岐に渡るテーマがありました。

それを傾聴していた生徒の感想からは、「自分の将来の行動(勉強、友人作り、挑戦)」に結びつけてポジティブに捉えていることが読み取れ、自らのこれからの大学生活に有意義に活かしていこうとする姿勢、何かを見付けようとする姿勢が強く感じられました。

本講話は、これから大学生になる生徒たちに大きく、深い示唆を与えたことが窺えます。

高校までにはなかなか体験できなかったことが、そしてこれから体験するであろう未知の世界を、佐藤先生の講話から学ぶことができたようです。豊富な経験に基づく「世界・政治・人間関係」の話題を、自身の経験と深い視点から読み解き、入学後の学びや多様な人間関係、幅広い考え方が新たに触発されるような講話でした。

生徒の感想にも深い感化の意が表され、多くの生徒が佐藤優先生の話に感銘を受けるとともに、自身の将来やこれから始まる大学生活について考えるきっかけを得ていることも分かり、深く感心しました。

生徒の感想の一部を紹介いたします。

1. 将来・進路・大学生活への意欲

- ・佐藤先生のすごく貴重な体験談を聞くことができ、自分の進路選択の参考になる話が多く、とても有意義な時間になった。
- ・人生について考えさせられた。自分の人生は一つではないため、大学ではたくさんすることに挑戦しようと思う。また、そのために、今日から、できることを探してみようと思えた。自立することは、自分の始まりだと思うから、頑張りたい。
- ・自分もただ大学に通うのではなく、いけなかった人、いけない人の気持ちも背負ってしっかり目標を決めて勉学に励みたいと思った。
- ・とても貴重な話を聞いて嬉しかった。しっかり学んでいきたいなと思った。
- ・これから名桜大学で学びを深めていく上で何が大事なのかを知ることができた。
- ・経験豊富で聞いていて、今後名桜大学に入学する上で様々なことに挑戦したり、計画を立てたりしていきたいです。人生退屈がないことがわかりました。

2. 視野を広げる、グローバルな視点

- ・世界の見方や考えを、直接世界と関わってきた人から聞くことができ、貴重な体験から色々なことを学べた。普段聞けないような世界規模のお話を聞いてよかったです。
- ・沖縄戦での出来事や政治、世界、人間関係など幅広い分野で有益なことが聞いてよかったです。
- ・普段の自分の視点からは得られない、多くのものの見方や考え方を教えてもらった。
- ・自分も海外に関わる仕事には興味があるのでいいお話が聞けたなと思った。

- ・人生経験が豊富な方なので話が面白い、深いので説得力が違った。先生の話で世界が広がったと思う。いろんな経験するのが大切だなと感じました。
- ・今までに聞いたことがない人生経験をされていて、今後の学びになったし、自分のこれからの人生についてもっと視点を広げて歩いていきたいと思った。有意義な時間だった。
- ・現状について知ることができた。いろいろな視野を持つことができた。ためになった。
- ・佐藤優さんの話を聞いて、世界ってとても広くていろんな人生を歩いていけるんだなと分かった

3. 人間関係・人との繋がり的重要性

- ・世界を知っている人の話を聞いて世界が身近に小さく感じたし、先生の話していた道を沢山作って友達を沢山作ることで人生が広がって行くことを覚えていきたいです。
- ・面白い話がぎきました。楽しかった。たくさん友達を大学で作っていきたい。
- ・大学でもこの学びを活かし、人との関わりを広げていきたいです。
- ・世界との繋がり、今あるつながりを大事にしていきたいと思った。
- ・これからの人生で大切なことが沢山聞けた。沢山の人の関わりを持っていきたいと思った。
- ・友達や知人をたくさん作ろうと思うきっかけになってよかったと思いました。
- ・交友関係を広く持つ事がとても大切で考える力をつけることが大事だと分かった。

4. 講演内容・講師への評価・感謝等

- ・今後自分の将来を考える上でためになる話を聞くことができたので良かったです。
- ・全然聞いたことないような話が聞けてとても興味深かった。貴重な話が聞けてよかった。
- ・佐藤先生の声が優しくて聞きやすく、心に響くようなとてもいい話が聞けたなと思いました。
- ・普段聞けないような世界規模のお話を聞けてよかったです。
- ・貴重な体験談が、沢山聞けてよかったです。
- ・お母さんの話も将来についての話も面白くてもっと聞きたいと思いました。
- ・普段聞けないようなことを聞けてとても楽しかったです。お話ありがとうございます。
- ・一生のうちで私が経験できない内容ばかりで、貴重な時間でした。
- ・講師の方の話はとても興味深くて、特に経験談に関しては、とても面白い話が多くあって、友達にも、こんな先生がいたことを伝えたいと思いました。
- ・様々なジャンルの話が聞けて興味深くきけた。
- ・世界の見方や考えを、直接世界と関わってきた人から聞くことができて、貴重な体験から色々なことを学びました。大学でもこの学びを活かし、人との関わりを広げていきたいです。



写真1 講師「佐藤優先生」紹介 佐久本機構長



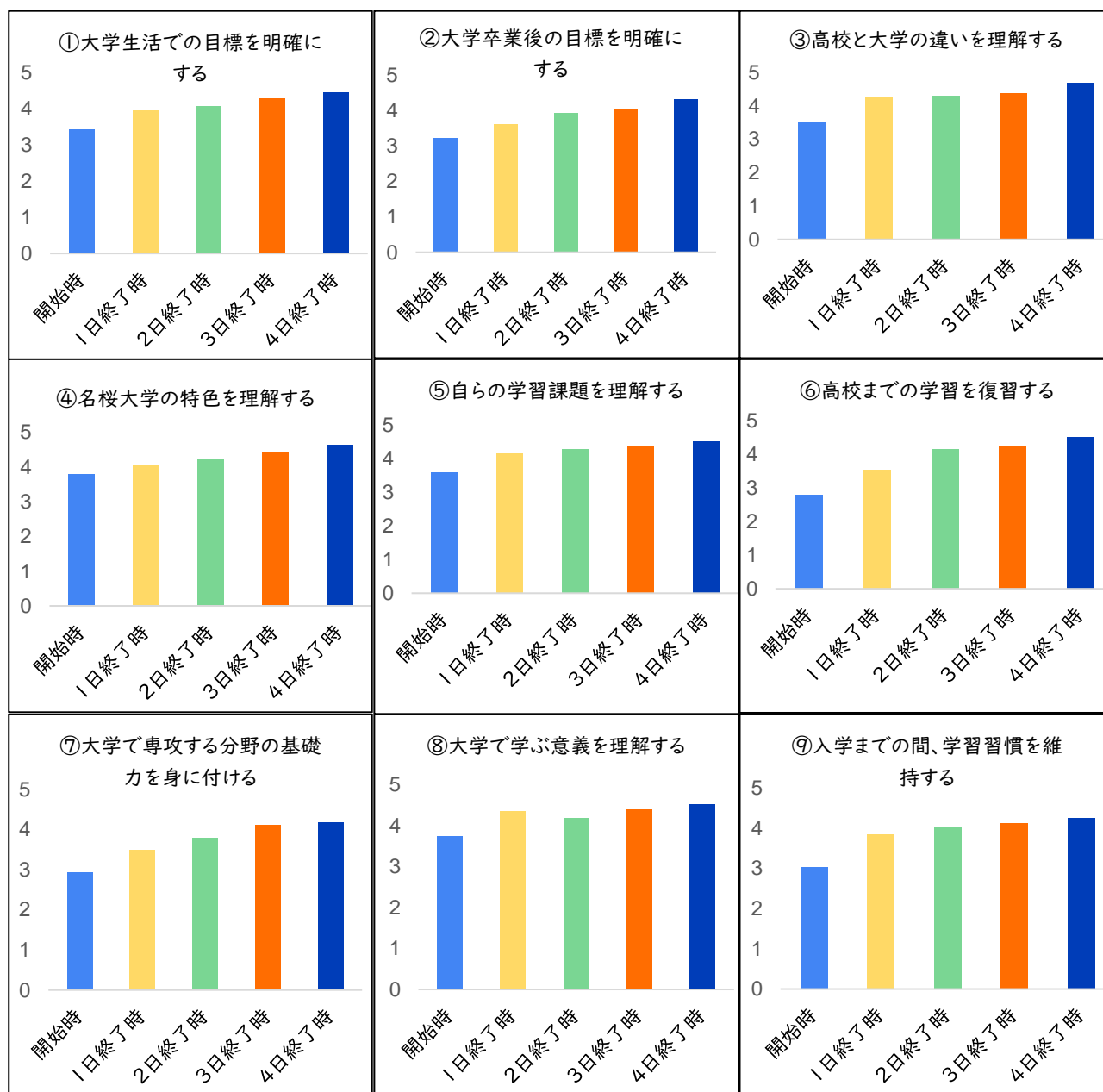
写真2 講話を釘付けになって聞いている生徒

4. 目標達成の自己評価

次のレーダーチャートは、3つの目標「入学後の目標を明確にする」「大学の学びへスムーズに移行できるように準備する」「入学前の準備学習（基礎力養成）」に対して9つの評価項目を設定し、講座開始時と4日間それぞれの講座終了後の5回の自己評価を集計したものです。

(5件法) (5回すべてのアンケートに回答した50人の集計結果)

(5: かなりできている 4: まあできている 3: どちらともいえない 2: あまりできていない 1: 全くできていない)



【考察】

9つの評価項目すべてにおいて、「開始時」から「4日終了時」にかけて自己評価スコアが右肩上がりて上昇しています。このことから、「入学後の目標を明確にする」「大学の学びへスムーズに移行できるように準備する」「入学前の準備学習（基礎力養成）」という3つの大きな目標に対して、本講座は受講生の自己効力感を高め、入学へのモチベーションと準備を十分に整える役割を果たしたと評価できます。開始時の自己評価が低かった「⑥高校までの学習を復習する」「⑦大学で専攻する分野の基礎力を身に付ける」は、大きく上昇しています。特に、「③高校と大学の違いを理解する」が最終的に4.7に大きく上昇していることは、この4日間のプログラムの目標である、入学後の学びへの意欲の喚起に十分に繋がったと捉えることができると考えています。

おわりに

2026年2月12日から17日までの4日間にわたり実施した「2025年度 名桜大学入学前特別講座」は、北部地区の県立7高等学校から77名の入学予定者を迎え、無事に全日程を終了いたしました。本講座の開催にあたり、生徒への参加を呼びかけていただいた各高等学校の先生方、貴重なご講話を賜りました佐藤優先生、そして交流会の企画・運営に尽力してくれました「ウェルナビ」の皆様、後輩へのメッセージを届けてくれました先輩学生の皆様に、心より感謝申し上げます。

本講座は、入学後の目標明確化、大学の学びへのスムーズな移行準備、そして基礎力の養成を目的として実施されました。4日間のプログラムを経た生徒たちのアンケート結果からは、すべての評価項目において自己評価スコアの上昇が見られ、特に「高校と大学の違いを理解する」という点で大きな成果が得られました。また、先輩学生との交流会では入学への不安が解消されたこと、佐藤優先生の特別講話では、広い視野を持ち、人との繋がりを大切にしながら将来に向き合うという、大学生としての確かな第一歩を踏み出すための強い意欲が喚起されました。

この4日間でしっかりとした成果を残した生徒が多数いた一方で、全体の出席状況は概ね良好であったものの、最終日に向けての出席率の低下や、特定の学科・高校における欠席者の偏りといった課題も確認されました。今後は、これらの課題に対して高等学校との連携をさらに深め、より多くの生徒がこの貴重な学びの機会を享受できるよう、改善策を検討・実施してまいります。

最後になりますが、本講座に参加した生徒たちが、ここで得た気付きや先輩からの温かいメッセージを胸に、4月からの名桜大学での学生生活を実り多きものにしていくことを教職員一同、心より期待しています。

★★★ 先輩方からのメッセージ ～大学の学びから後輩へ伝えたいこと～ ★★★

- ◎大学生活は高校生活とは何もかもが違って始めてのことばかりで慣れるのに時間がかかると思う。素敵な大学生活をおくれるように頑張ってください!
- ◎名桜大学はチューターがサポートしてくれる制度がほんとにとっても優れている。助けが必要で困ったらいつでもチューターや周りの先輩に頼ってください!!
- ◎大学に入学する時に、「自分の目標」を持って、将来に向けて取り組んでいくことが大切!
- ◎サークルとか名桜で「何かの活動」に参加したら他学部との交流も増えてもっと楽しくなる!



写真5 交流会後の高校生と先輩学生の集合写真